

●今後の総エネルギー使用量の見込みと再生可能エネルギー等の取組

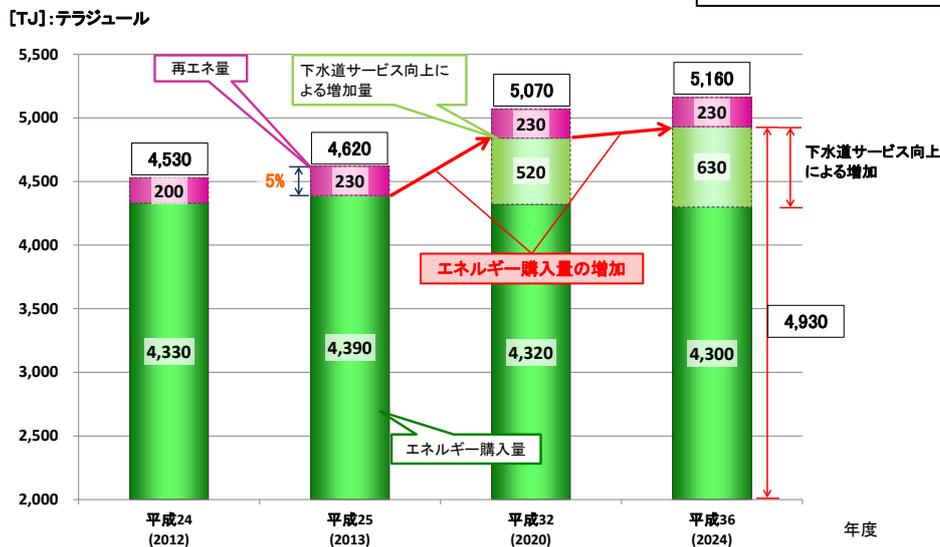
平成25年度の総エネルギー使用量は4,620TJ（テラジュール）※であり、そのうち、再生可能エネルギー量は230TJ（総エネルギー使用量に対する割合5%）です。

今後とも、浸水対策のレベルアップ、合流式下水道の改善などの下水道サービス向上に取り組んでいきます。そのため、図表-1のように、平成36年度のエネルギー購入量は、4,930TJまで増加する見込みです。

そこで、再生可能エネルギー活用の拡大や省エネルギーの更なる推進に取り組み、図表-2のように、平成25年度を基準として、平成36年度のエネルギー購入量を4,060TJまで削減し、総エネルギー使用量に対する再生可能エネルギー等の割合20%以上を目指します。

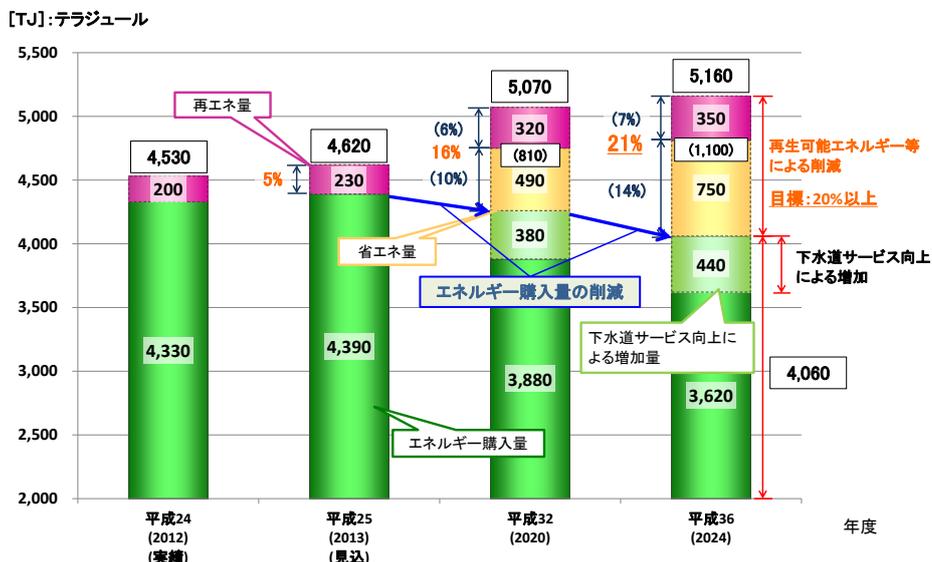
※下水道事業では電気と燃料を大量に使用。
単位を統一するため熱量に換算。
(J(ジュール) 100万kWh=3.6TJ)
T(テラ)は10¹²=1兆を意味する。

○図表-1 今後の総エネルギー使用量の見込み



再生可能エネルギー等の取組を実施

○図表-2 新たな取組による今後の総エネルギー使用量の見込み



※ () 内の数字は、再生可能エネルギー量と省エネルギー量を足し合わせた量